

メキシコへ派遣されてから四か月がたちました。相変わらず昼と夜の気温差が激しく、日中は半袖でも過ごせるような日々が続いています。日本のように落ち葉で道がふさがり、相も変わらず木々の緑が輝いている、冬とは思えない風景を見ることが出来ます。基本的に4月から10月までが雨期、11月から3月までが乾期とされています。メキシコに着いた直後は夕方に雷を伴う夕立のようなものがありましたが、今はそれもないので、今の時期がメキシコへの旅行にはとてもいい季節だと思います。

メキシコの宗教

12月はカトリックの国であるメキシコにとってはとても特別な季節です。スーパーやZocalo(ソカロ)という大きい広場、ショッピングモールなどにはたくさんのオーナメントやイルミネーションが飾られます。特に日本人がびっくりするのは巨大なクリスマスツリーを見られることです。これはいろんな広場に飾られています。Zocalo(ソカロ)には、クリスマスツリー以外にもいくつかクリスマスデコレーションが施されていて楽しいです。

☆Zocalo(ソカロ)と国立図書館前のクリスマスツリー☆

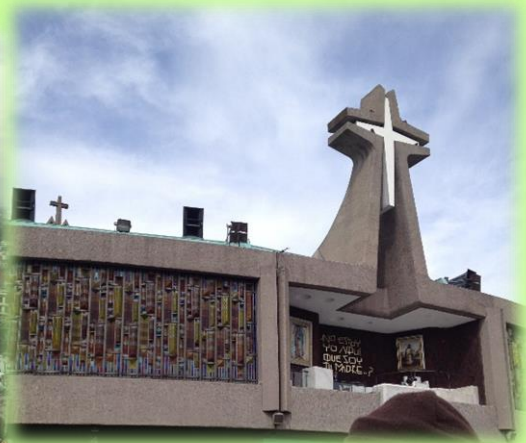


☆Zocalo(ソカロ)のクリスマスデコレーション☆



12月12日は、伝説上、Guadalupe(グアダループ)と呼ばれるメキシコの MARIA 様がフアン・ディエゴの前に降臨した日で、前日の夜から花火を打ち上げ、歌ったり踊ったりして国をあげて賑わいます。メキシコシティ北部にある Guadalupe(グアダループ)寺院には人々が自分の家の MARIA 様を背負って歩いてやってきます。当日私は友人とその様子を見に行きました。最寄りの駅やバス停は人が多すぎて封鎖されていて、警察官もたくさんいました。小さな祭壇が作られ、いろいろな地方から来た人たちがいたところで民族舞踊を踊っていたりお香をたいていたりして、日本のクリスマスにはない光景でした。私が気になってしまったのは、こんなにも大切にしている Guadalupe(グアダループ)の聖地であるにもかかわらず、メキシコ人が寺院でごみを散らかしていたところです。日本人は、大抵の場合、神社やお寺に行ってもごみを散らかして帰るといった事はないと思います。妙なところで異文化を感じてしまいました。

☆Guadalupe(グアダループ)寺院(本殿と旧本殿)☆



私の家の近くにある小さな広場にも、Guadalupe(グアダループ)とイエス様が飾られていて、その様子もとても美しいです。

クリスマスからのマヤ遺跡巡りの旅行をする予定です。メキシコ気分をいっぱい味わいたいと思います。メキシコで迎える新年にわくわくしています。

皆様もよいお年をお迎えください。